

370. ナガジロナミシヤク

'6 0.1 1.下 (Ama)

Melanthia procellata inquinata Butler

'5 9.5.5 (Ama)

ハマオモトヨトウ淡路島に産す

ハマオモトヨトウ *Erithys pancratii* Cyrilli は、その和名が示すようにハマオモト(ハマユウ)を食草とする有名な蛾であるが、これまで淡路島から記録されていなかった。

県農試淡路分場の藤富正昭氏によると、1977年秋季に東浦町仮屋の海岸でハマオモトの花に本種の幼虫が多数ついているのを確認し、1978年夏季には津名町佐野でも同様に幼虫を確認し、そのうち数頭を持ち帰り飼育したところ、8月24日(1978)に1さか羽化したとの事で、標本を筆者に提供された。

上記の2地点でのハマオモトは、他の地域から移植されたものらしいが、淡路島南岸の沼島には自生のものが知られており、ここから本種が発見されるのも、もはや時間の問題であろう。

尚、末筆ながら貴重な情報並びに標本を提供下された藤富氏に厚くお礼申し上げます。

(登 日 邦 明)

ヒメコブヤハズカミキリの新産地

ヒメコブヤハズカミキリ *Parechthistattus gibber* Bates は比較的稀なカミキリムシで、淡路島からは水沼(1970)と金田(1978)により先山から各1頭が報告されていたのみであった。

筆者は1978年5月13日に、洲本市鮎屋の鮎屋ダム上流で、地面に静止していた本種を採集したので記録しておきたい。尚、標本は筆者が保管している。

(登 日 邦 明)